

J C I プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会 ( J C I - T C 0 7 1 A )  
W G 4 ( リサイクル材等利用 W G )  
第 2 回 W G 議事録

- 1 . 日 時 : 2007 年 10 月 1 日 16 : 00 ~ 17 : 30
- 2 . 場 所 : J C I 会議室
- 3 . 出席者 : 北辻主査、田口史雄、内田美生、松田 学、衣川直紀、片平 博、  
藤田康彦、佐々木肇、梅村靖弘、
- 4 . 配布資料 : 資料 2 - 0 第 1 回 W G 4 議事次第  
資料 2 - 1 第 1 回 W G 4 議事録  
資料 2 - 2 W G 4 の当面の活動および役割分担について
- 5 . 議事内容
  - 5.1 主査挨拶  
北辻主査より、今回の W G では当 W G の当面の活動および役割分担について決めた  
いと趣旨説明があった。
  - 5.2 審議内容
    - 5.2.1. 前回議事録の確認 ( 資料 2 - 1 )  
北辻主査より前回議事録が資料に沿って説明され、再生骨材を対象とした簡易的  
な判定方法について、土木研究所片平委員より補足説明があった。  
市販の食品保存容器 ( 商品名 : タッパウェア ) に試験対象の再生骨材と水を入れ、  
冷蔵庫の冷凍室にて 1 日 16 h 保管、その後 1 日 8 h 20 の水槽中で保管する。  
このサイクルを 10 回 繰り返し、重量変化が 10% 未満、又は F.M. 値で 0.1 以内 で  
あれば合格。  
第 1 回 W G 4 議事録は上記下線部分を追加訂正し承認された。
    - 5.2.2. 新任委員の推薦について ( 資料 2 - 0 )  
北辻主査より笠井哲郎氏 ( 東海大学 )、斎藤直氏 ( 中国電力 )、蔵重勲氏 ( 電力中央  
研究所 )、の 3 名が W G 4 に加わることになった旨の報告があった。
    - 5.2.3. 活動内容について ( 資料 2 - 2 )  
資料 2 - 2 に沿って、当 W G ( リサイクル材等利用 W G ) の当面の活動および役割  
分担が審議され、( 1 ) ~ ( 6 ) の役割分担と担当が申し合わされた。  
( 1 ) 文献調査 担当 : 内田美生、蔵重勲、藤田康彦、( リーダー : 内田 )
      - ・ 調査期間は過去 15 年程度 ( 遡っても 20 年まで ) とする。
      - ・ キーワードは、プレキャスト製品、リサイクル、低品質骨材、等で検索条件  
は and で可とする。
      - ・ 文献情報はタイトル名と概要をリストアップする。
      - ・ 対象文献 ( 国内 ) に セメント・コンクリート論文集を加える。

- (2) プレキャスト製品工場の現状調査 担当：松田学、衣川直紀、(リーダー：松田)
- ・現状調査にあたっては地域性の影響が大きいことを考慮する。
  - ・(レベルアップの必要性についてWG3)は削除する。
- (3) 低品質骨材の調査 担当者：佐々木肇、片平博、斉藤直、梅村靖弘、田口史雄、(リーダー：佐々木)
- ・調査はWG2と連携して実施する。
  - ・どういう事項について調べるのかを明確にしてWG2に提示する。
  - ・フライアッシュは非JIS灰を含む。
  - ・有害物を含有する場合は何らかの注意が必要になるが、製品ベースで溶出がなければ考慮視野に入れても良い。
  - ・6価クロムの問題についても対策面で十分考慮する。
  - ・石粉(微粉)については砕石とも関連するので余裕があれば取り上げる。
- (4) 再生骨材Mの利用検討 担当者：田口史雄、片平博、佐々木肇、内田美生、衣川直紀、笠井哲郎、斉藤直、(リーダー：北辻)
- ・細骨材と粗骨材の2種類あるが、まずは粗骨材から検討を始める。
  - ・ASR問題との関連を十分考慮する。
  - ・製品製造上の留意点を示すと共に、再生骨材Mの混合使用の可能性と是非を検討する。
  - ・シンポジウムでは再生骨材Mに関する何らかの情報提供が出来ることを目標にする。
- (5) 混合セメントおよび特殊混和剤の利用 担当者：藤田康彦、内田美生、蔵重勲、笠井哲郎、斉藤直、梅村靖弘、(リーダー：藤田)
- ・文献等の情報を整理して問題点や課題を抽出する。
  - ・製品製造時に有効な対策となる様な技術があれば取り上げて行く。
- (6) 新技術・工法 担当者：笠井哲郎、斉藤直、梅村靖弘、(リーダー：北辻)
- ・WG1に構造担当Gr.と材料担当Gr.とが出来るのでここへ参画して行く。

最後に北辻主査より、各グループとも技術の可能性と課題を切り口に私案も交えて資料化を進めてもらいたい、との要請があり閉会した。

次回WGは11月5日、場所はJCI会議室を予定

以上  
(文責：藤田康彦)

